蘇りの花

～返り咲く丸子の記憶～

静岡市駿河区　2100年の今　武本美樹

「始発」

長野県と山梨県の境に位置する丸子町。この町は、いつの時代から、何のために生まれたのかがわからない。それを知るべく、祖父の跡を追って、私は丸子の地に足を踏み入れた。しかし、当時の町は、廃墟と化していた。

「もう知っている人はいないよ。」

懐かしさと寂しさが入り混じった感情が私の中に流れ込んでくる。行き場のない感情をこの研究を通して、私がここに残すことにした。

過去

記憶一「糸」が栄えた街だった

丸子は、長野県と山梨県の境に位置する町である。

丸子は、古くから、蚕の飼育が盛んな地であり、蚕の飼育に適した環境であったことから、蚕の飼育が盛んに行われていた。

明治時代に入ると、蚕の飼育だけでなく、糸を作る工場が多く建てられ、丸子は、糸の生産地として栄えていた。

丸子は、蚕の飼育に適した環境であったことから、蚕の飼育が盛んに行われていた。

蚕の飼育は、蚕の成長に合わせて、桑の葉を与えなければならないため、桑の葉を与えるための桑畑が、丸子の周辺に広がっ